

住田町立有住中学校 第3学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和3年9月29日(水) 3校時
場 所 住田町立有住中学校 多目的ホール
学 級 第3学年4名(男3名・女1名)
授業者 佐々木佳恵・黒坂太一・高橋秀治

1 単元名 第3単元「発信するものの成果・課題を明らかにしよう！」

2 単元について

(1) 題材について

本学級では、『住田の魅力発信プロジェクト』として、住田町の魅力を伝える「日めくりカレンダー(成果物)」の制作を企画し、4人の仲間で探求的かつ協働的な学習に取り組んできた。

本単元は、発信内容の成果と課題を明らかにし、成果物の吟味改善を図ることをねらいとしているが、生徒自身がこれまでの学習を振り返る機会にもなることから、自分たちが伝えたい住田町の本当の魅力とは何か、どのように伝えることが大切なのかを再検討することができる。また、単元計画表上、第3単元は、成果物完成を前提とした構成となっているが、制作途中に専門家からの意見・感想を聞く活動を取り入れることにより、生徒のニーズや困りに対応できるよう配慮した。

学習活動としては、生徒同士の意見交換だけに留めることなく、地元関係者への取材、観光プロデューサーとのリモートでの交流、専門家との意見交換など、他者との双方向的なやりとりを重視した学習活動を取り入れていく。成果物の吟味改善はもちろん、社会的実践力を育成することができる題材として設定した。

(2) 生徒について

これまでの学習を通して、生徒は、住田町の魅力やよさを再認識し、地域への理解を深めてきた。特に「住田町の魅力を町内だけでなく町外にも伝えたい、広めたい。」という気持ちの高まりが見られている。また、「住田町に行ってみたい、魅力に触れたい。」と思わせる成果物をつくり、多くの人に住田町を訪れてほしいという願いを込め、日めくりカレンダーの制作を決めた。制作に取り組むうえで、自分たちが伝えたい魅力を表現する難しさ、スキル不足を痛感する等、作業が停滞し、互いに解決策を相談するが困惑する様子も見られた。

日常の学校生活においては、仲間にどう伝わるかを考慮し自分の考えや思いを伝えたり、仲間の考えや思いを受け入れたりしている。しかし、仲間の意見や考えを素直に受け入れる一方で、実は自分の考えが浅く、自分の考えを上手く表現できずに、安易に相手の意見に従ったりする傾向も見られる。この点に関しては、生徒自身が自分たちの課題として捉え、改善したいと考えていることから、他者との関わりを大切にした学習活動に取り組みせながら、人間関係形成に関する資質能力の向上を図っていきたい。

(3) 指導にあたって

発信内容の成果と課題を明らかにするにあたり、専門家から自分たちが伝えたい魅力を表現するためのスキルや方法を学び、他者との双方向的な関わりを通して成果物の吟味改善に取り組ませていく。本時までには、専門家と2度のリモートでの交流を行い、制作内容の成果と課題を明らかにするとともに、専門家からの適切な助言により、自分達にはない視点を持たせることができた。

本時の指導にあたっては、別の専門家と成果物について質疑応答を重ね、発信内容の成果と課題を明らか

にし、成果物の吟味改善につなげさせる。振り返りでは、他者から学んだことや気づいたこと、自分の考えがどのように深まったか等、具体的な言葉が述べられるように促す。本時の学習活動では、自分の考えが伝わるように言葉を選び、自ら適切な働きかけを行い、相手の考えを受容することを通して伝え合う力を育成していきたい。授業者は、生徒が主体的に探究できるようそれぞれの役割を持って指導するとともに、生徒の意図する成果物が制作できるように支援していきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の目標
社会的実践力	A 【地域理解】	○自分達の取り組んだ企画が地域に与えた影響を把握するとともに、企画について興味・関心を持つ専門家や地域の方が大勢いることに気付くことができる。
	B 【社会参画に関する資質能力】	○自分たちの手ごたえに加えて、専門家や地域の方（自分達が企画を提供したい相手）から企画に関する意見・感想を聞き、それらの情報を成果や課題として整理することができる。
	C 【人間関係形成に関する資質能力】	○企画についての意見・感想を伺うために趣旨を適切に伝え、実際に聞いたあとどのような立場・世代から、どのような意見・感想が挙げられているか把握することができる。
	D 【自律的活動に関する資質能力】	○専門家や地域の方が、自分たちの取り組んだ企画について、どのような意見・感想を抱いているか、なぜそのような意見・感想を持っているのか把握しようと努力することができる。

(2) 評価規準

☆汎用的スキル ★態度・意欲・学びの価値

資質能力		評価規準		
A	◎地域理解	【◎地】	・自分達の取り組んだ企画が地域に与えた影響を把握したり、自分達の企画について興味・関心を持つ専門家や地域の方が大勢いることに気づいたりしている。	
B	社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・専門家や地域の方から自分たちの企画に対する意見・感想を得てまとめるために、各自の役割・スケジュール等をグループで確認・共有している。
		2 ☆多面的・多角的に考える力	【☆多】	・自分たちの手ごたえに加えて、専門家や地域の方（自分達が企画を提供したい相手など）から企画に関する意見・感想を聞き、それらの情報を成果や課題として整理しようとしている。
C	人間関係形成に関する資質能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・専門家や関係者（自分達が企画を提供した相手など）に意見・感想を伺うために趣旨を的確に伝え、企画の成果と課題を明らかにしようとしている。
		3 ★他者受容	【★他】	・専門家や関係者（自分達が企画を提供した相手）から、提供した企画についての意見・感想を伺い、どのような意見・感想が挙げられているか把握しようとしている。
D	自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じる力	【☆感】	・専門家や地域の方が、自分たちの取り組んだ企画について、どのような意見・感想を抱いているか、なぜそのような意見・感想を持っているのか把握しようとしている。

4 単元の指導・評価計画（本時 第6時／全10時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
8	フィードバックを受けるための計画を立てよう！	課題への気付き 現状把握、計画する 見通しを持つ	1	・フィードバックを受けるための計画を確認する。		・B1 ☆見通す力（ポートフォリオ ※第4単元で個人内評価）
8 ・ 9	フィードバックを受けよう！	実施・改善	2	・評価をいただきたい方（専門家①）に趣旨説明をしてアポイントをとる。 ・評価をいただきたい方（専門家②）に趣旨説明をしてアポイントをとる。		・C1 ☆伝え合う力（ルーブリック） ・C3 ★他者受容（行動観察、ワークシート、チェックリスト）
8 ・ 9		実施・改善	4	・専門家①に企画についての評価をいただく。 ・専門家②に企画についての評価をいただく。（本時）		
10	取り組みの振り返りをしよう！	振り返り まとめ	2	・収集した情報を共有して整理し、報告会で取り扱う情報を選ぶ。		・B2 ☆多面的・多角的に考える力（ワークシート、チェックリスト）
10	活動の振り返りをしよう！	振り返り まとめ	1	・本単元の振り返りに取り組む。		・A ◎地域理解 ・D1 ☆感じ取る力（振り返りシート、個人内評価）

5 本時の指導

(1) 目標

専門家や仲間との双方向的な関わりを通して成果と課題を明らかにし、日めくりカレンダーの吟味改善へつなげることができる。 【C 人間関係形成に関する資質能力 C1 ☆伝え合う力】

(2) 評価について

○本時のルーブリック

パフォーマンス課題		・専門家や仲間との双方向的な関わり
みとる資質能力		・C1 ☆伝え合う力
パフォーマンスの特徴	A	・専門家の助言(意見・感想)をもとに自分の考えを深め、成果物の吟味改善に関わる質疑応答を行うとともに、改善の仕方や工夫について仲間に伝えている。
	B	・専門家から聞いた助言(意見・感想)をもとに自分の考えを深めるとともに、改善した部分について専門家や仲間に自分の考えを伝えている。
	C (支援の手立て)	・専門家からの助言(意見・感想)をもとに、発信内容の問題点や改善点を整理させ、成果物の吟味改善につなげることができるように支援する。

(3) 展開(50分)

段階	学習内容・学習活動	・指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	1 学習課題の確認と日めくりカレンダーの選択	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の助言(意見・感想)をもとに、他者(専門家・仲間)との意見交換をしながら、※日めくりカレンダーの吟味改善につなげていくことを補足説明する。 ・専門家と改善したいと考えている日めくりカレンダー数枚を選択させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>助言をもとに、カレンダーをブラッシュアップしよう！</p> </div>		
展開 35分	2 専門家からの助言(感想・意見)を聞く。 3 日めくりカレンダーについて、専門家と質疑応答する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に専門家が意見や感想を記入した付箋の内容について説明してもらう。 ・専門家と質疑応答をくり返ししながらブラッシュアップをさせる。積極的な意見交換を促し、自分の考えを遠慮せずに尋ねることを意識させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>◆評価 C1 伝え合う力</p> <p>専門家から聞いた助言(意見・感想)をもとに自分の考えを深めるとともに、改善した部分について専門家や仲間に自分の考えを伝えている。</p> <p>(行動観察、ワークシート)</p> </div>		
まとめ 10分	4 成果発表 5 振り返り (1) 振り返りシートの記入 (2) 振り返りの共有 6 次時の学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞いて学んだことや気づいたことをふまえ、振り返りを行わせるとともに、本時の感想、次時に取り組みたいことを具体的に記入させる。 ・振り返りの共有を行い、日めくりカレンダー完成に向けての意欲付けを図る。

※日めくりカレンダー

1日1枚、計31枚の日めくりカレンダーを1人あたり7~8枚分担し制作している。